



めたばる

発行

令和8年6月
陸上自衛隊
目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



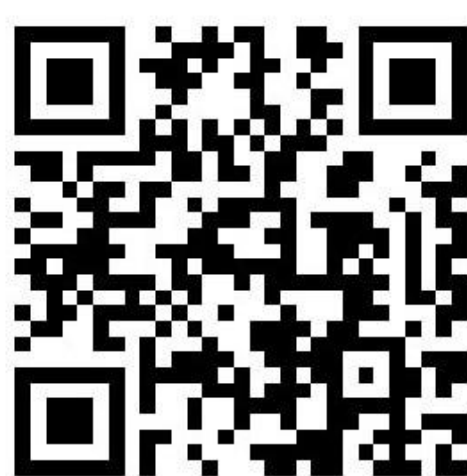
@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地
令和8年6月現在
フォロワー
約12,400人!



Instagram



令和8年6月現在
フォロワー
約1,000人!



ホームページ

巻頭の辞

九州補給処長
兼ねて目達原駐屯地司令
陸将補 河合 寿士

向夏の候

連日暑さの増す中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

駐屯地は、5月31日、駐屯地記念行事を開催いたしました。当日は天候には恵まれたものの、5月とは名ばかりの30℃を超える猛暑の中、県知事・国会議員をはじめとする多数のご来賓のほか、県内外からの多くの方々のご来場を賜り、成功裡に終えることができました。ひとえに、平素からの防衛省・自衛隊及び目達原駐屯地に対するご理解、ご協力を賜っていることに改めて御礼申し上げます。

さて九州北部は6月上旬に梅雨入りし、梅雨明けは平年並みの7月中下旬と予想されていますが、梅雨末期における大雨などによる災害発生が予想されます。駐屯各部隊は即応態勢を維持し、航空活動のみならず、補給・整備、生活支援活動等幅広い任務に対応し得るよう日々の訓練、任務に励んでおります。

我々自衛隊にとって今が訓練最盛期であり、各部隊はそれぞれの任務の特性に応じた練度を積み上げていくとともに、将来の日本の防衛を担う新隊員を受け入れ、戦力化へ向け一丸となって取り組む時期でもありますので、引き続き皆様のご理解、ご協力を賜りますよう今後ともよろしくお願いいたします。

新着任主要幹部紹介

▼第1戦闘ヘリコプター隊長



1等陸佐
寺岡 利春

〈出身〉茨城県
〈職種〉航空科
〈座右の銘〉
我以外皆我師

〈一言〉
隊員とともに強靱で信頼される部隊を目指します。

▼西部方面ヘリコプター隊長



1等陸佐
長谷 重義

〈出身〉北海道
〈職種〉航空科
〈座右の銘〉
継続は力なり

〈一言〉
航空輸送等の基幹部隊として、実力を高めるとともに、駐屯地所在部隊として、地域との連携強化に尽力します。

▼第4飛行隊長



2等陸佐

田口 直樹
〈出身〉北海道
〈職種〉航空科
〈座右の銘〉
至誠通天

〈一言〉
隊員一人ひとりの声と誠実に向き合いながら、一丸となって任務に邁進して参ります。

▼西部方面システム通信群本部中隊 映像写真小隊空中伝送班長



3等陸尉
上口 満高

〈出身〉鹿児島県
〈職種〉システム
通信科
〈座右の銘〉
和顔愛語

〈一言〉
西部方面隊唯一の映像伝送部隊として、任務完遂に寄与できるよう努力して参ります。

(令和8年3月16日付)

▼九州補給処装備計画部企画課長



2等陸佐
米田 一紀

〈出身〉北海道
〈職種〉武器科
〈座右の銘〉
万里一空

〈一言〉
補給処の兵站業務の実効性向上のため、前向きに業務に取り組みたいと思います。宜しくお願いします。

▼九州補給処装備計画部計画課長



2等陸佐

小石澤 隼
〈出身〉福岡県
〈職種〉武器科
〈座右の銘〉
七転八起

〈一言〉
学生時代から縁のある佐賀で勤務できることを光榮に思います。よろしく申し上げます。

(令和8年3月23日付)

目達原駐屯地創立記念行事



記念式典



編隊飛行



野販売店



航空装備品展示



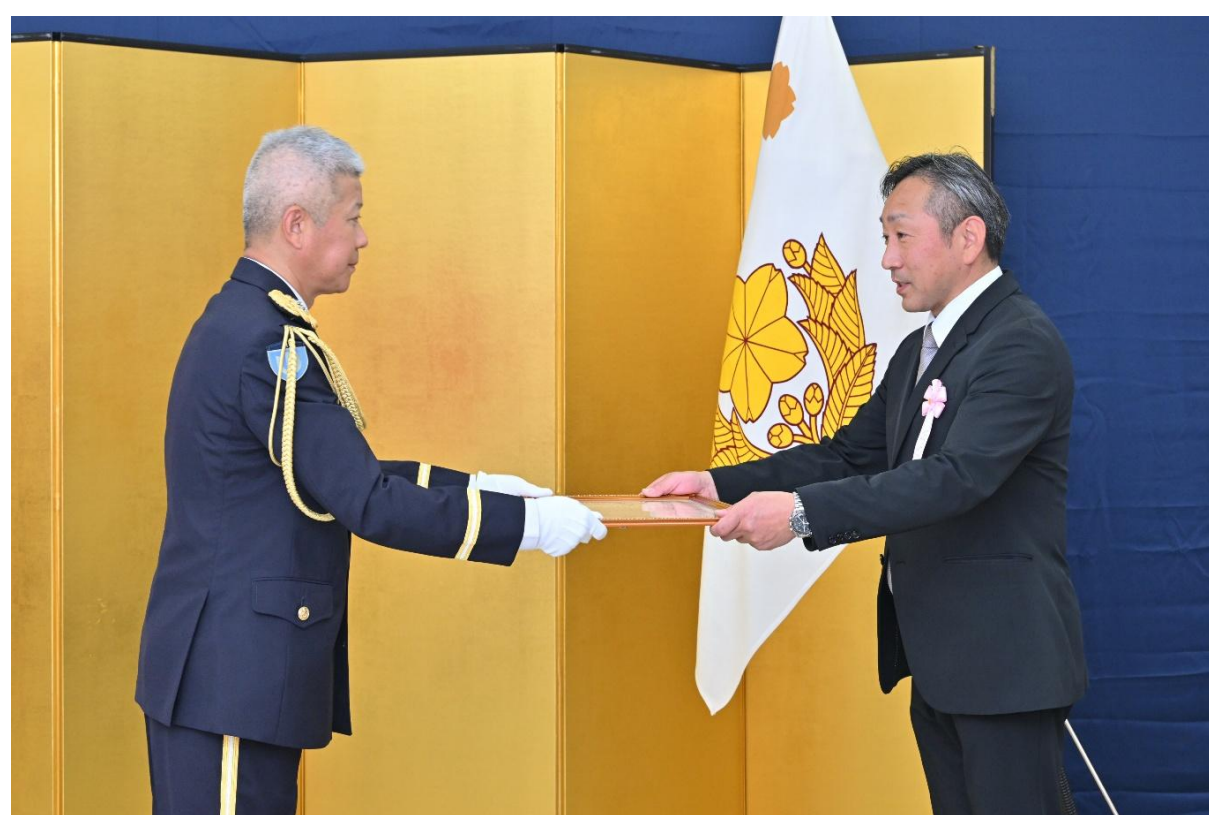
車両体験試乗

駐屯地は、令和8年5月31日(日)、目達原駐屯地創立記念行事を行いました。今回は一地域とともに、72年―をテーマに掲げ、記念式典、編隊飛行、装備品展示、車両体験試乗、航空機地上滑走及び野外売店等を実施し、駐屯地に来場された方々に楽しんでいただきました。

当日は、炎天下にもかかわらず、約4,000名の方々が来場され、盛会の内に行事を終えました。

第4師団長感謝状受賞

令和8年4月19日（日）、福岡駐屯地で実施された令和8年度第4師団長感謝状贈呈式において、佐賀県東部地区防衛協会青年部会長 北村好広氏は、地域住民と目達原駐屯地の架け橋となり各種活動を積極的に実施された等の功績、目達原駐屯地OB会副会長 中村正氏は、駐屯地近傍の防衛協会及び隊友会との連携強化に努められる等防衛基盤の育成に寄与した等の功績がそれぞれ認められ、前島第4師団長より感謝状を受賞されました。



師団長から感謝状を受賞される北村氏



師団長との記念撮影



師団長から感謝状を受賞される中村氏



師団長との記念撮影

駐屯地観桜行事



桜を楽しむ来場者



野外売店



装備品展示



足湯コーナー



イートインスペースの様子

駐屯地は、令和8年3月28日（土）、駐屯地観桜行事を行いました。天気に恵まれ、県内外から約3,000名の方々が駐屯地を訪れて、八分咲きのメイン道路沿いの桜の他、装備品展示、子ども広場、キッチンカーなどの野外売店及び足湯コーナーなどで楽しんでいただきました。特に、イートインスペースでは、多くの方々が桜を眺めながらの食事などを満喫されていました。

九州補給処

補給本部長初度視察受察

令和8年3月、弾薬・燃料・需品などの補給機能を中央で一元的に運用・管理することを目的として、補給統制本部は補給本部に改編され、九州補給処は、その隷下部隊となりました。

九州補給処は、令和8年5月18日（月）、目達原駐屯地において、初代補給本部長 柿野正和陸将による初度視察を受けました。

初度視察では、記念撮影、幹部挨拶、状況報告及び指揮官懇談等を実施し、九州補給処の現況及び後方支援の実効性向上に係る各種取り組みについて補給本部長の確認を受けました。



状況報告



現地確認(整備部)



現地確認(補給部)

西部方面後方支援隊

創隊23周年記念行事

西部方面後方支援隊は、令和8年3月29日（日）、創隊23周年となる記念行事を開催しました。

当日は、目達原後方支援隊OB会、歴代指揮官及び歴代最先任上級曹長等のご臨席を賜り、後方支援隊に対する理解と信頼の獲得を図りました。

また、部隊の融和団結及び帰属意識向上のために実施した隊歌コンテストの審査会を行い、事前選考した8組の独創的な隊歌をOBとともに審査しました。

その後行われた祝賀会食では、隊員と招待者の方々と話に花が咲き、更なる親睦を深め、本記念行事は盛況のうちに終了しました。



記念式典



隊歌コンテスト審査会



祝賀会食

第1 戦 闘 へ リ コ プ タ ー 隊

アイアンファースト26 (IF26)

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和8年2月19日（木）から3月10日（火）までの間、第3海兵機動展開部隊との共同訓練（アイアン・ファースト26）に参加し、統合強制進入作戦に係る戦闘・戦闘支援等を共同・統合により演練するとともに、共同ヘリコプター火力戦闘を実施して、水陸両用作戦における任務遂行能力等の向上を図りました。



共同FARP（燃料・弾薬再補給点）



集合写真



空中機動掩護

第4 飛 行 隊

第38代第4飛行隊長 田口2佐着任

田口 直樹2佐は令和8年3月16日付で第38代第4飛行隊長として着任しました。田口2佐は、部隊到着後、幹部挨拶を受け引き続きエブロン地区において着任式を執行し、部隊指揮官（最所3佐）の案内による巡閲を実施後参列各隊員に対し統率方針「即応完遂」「変化への対応」、要望事項「信頼されよ」の下、第4飛行隊は、新たな体制でのスタートを切りました。



幹部挨拶



着任式（目達原駐屯地）



記念撮影



状況報告

西部方面管制気象隊 第1 派 遣 隊

教育訓練基盤構築実施

西部方面管制気象隊第1派遣隊は、令和8年4月6日（月）から同月12日（日）にかけて、教育訓練基盤構築を実施しました。演習場は教育訓練に係る道場であるという認識のもと、演習場の長期安定使用及び訓練・演習の効果的な実施に寄与できるがごとく整備を実施しました。第1派遣隊は引き続き一丸となり、あらゆる任務を安全・確実に遂行して西部方面隊等の任務達成に寄与できるよう部隊の能力向上に邁進します。



水ぜきの整備



側溝の整備

西部方面ヘリコプター隊

隊内生活体験

西部方面ヘリコプター隊は、令和8年4月14日（火）から16日（木）までの三日間にわたり、目達原駐屯地において、希望頂いた各企業の新入社員に対する隊内生活体験を実施しました。

隊内生活体験では、陸上自衛隊の概要説明、基本教練体験、救急法体験及び徒步行進体験等を実施し、自衛隊に対する理解を深めるとともに、規律心、団結心を養うことができました。隊内生活体験に参加した企業の方々からは、「自衛隊の皆さんの凄さやありがたさを実感しました」「私自身も自衛隊の体験を知ることができ職場に戻ってから、人材・住民の方々のために役に立てるよう業務に励んでいきます」との意見が寄せられました。



基本教練体験



着隊報告



徒步行進体験



救急法体験

第321基地通信中隊

隊員家族の日

第321基地通信中隊は、令和8年3月28日（土）駐屯地観桜行事にあわせて隊員家族の日を実施しました。隊員家族及び中隊OBの方々をご招待しご家族の皆様は隊員の職場や仕事内容について理解していただくとともに家族相互間の交流を深めることができました。また、中隊OBの方々との親睦を深めるとともに3月定期異動に伴う転入者2名の歓迎会を行い中隊の団結の強化と士気の高揚を図ることができました。



中隊OBとの交流

転入者の歓迎会



隊員家族との交流

隊員家族との交流

夜間における映像伝送訓練

空中伝送班、令和8年4月9日（木）に、西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊と協同で令和8年度第1回ヘリコプター映像伝送訓練に参加しました。本訓練は、夜間に大分県別府市を震源とする地震に伴う津波、建物火災及び孤立地域発生を想定した訓練です。同日18時20分、目達原駐屯地を離陸、速やかに大分県大分市別府市上空へ推進し、夜間という視界不良の条件下で映像撮影及びナレーションを実施するとともに、映像伝送を行いました。今後とも訓練に邁進し、災害等が発生した際には速やかに被害地域の映像配信を実施し、西部方面隊等の任務達成に寄与して参ります。



機側におけるブリーフィング

機内景状



駐屯地らっぱ競技会

駐屯地は、令和8年2月27日(金)、駐屯地体育館において、駐屯地らっぱ競技会を行いました。本競技会は、駐屯地各部隊等のらっぱ特技保有者の中で、4、6名で構成されたチームで競う団体の部と各個人で競う個人の部で実施し、参加した隊員たちは、緊張しつつも日頃の練成成果を十二分に発揮してらっぱ吹奏し、競技会に臨みました。結果は、団体の部では九州補給処1Gpが、個人の部では西部方面後方支援隊第106全般支援大隊藤本3曹が優勝しました。



団体優勝した九州補給処1Gp

競技会参加者全員での集合写真

【結果】	
(団体の部)	
優勝	九州補給処1Gp
準優勝	西部方面後方支援隊1Gp
第3位	西部方面後方支援隊2Gp
(個人の部)	
優勝	西部方面後方支援隊 第106全般支援大隊 藤本3曹
準優勝	第4飛行隊 濱3曹
第3位	九州補給処補給部 永山2曹

駐屯地火災対処訓練

駐屯地は、令和8年3月10日(火)、目達原駐屯地において、駐屯地火災対処訓練を実施しました。本訓練では、神埼消防署の支援を受け、駐屯地消防ポンプ班及び初動対処要員による初期消火要領、駐屯地隊員の指定場所への避難要領、避難搬出物品の搬出要領等を演練しました。

今回の火災対処訓練を通じ、火災発生時における初動対処要領を再確認するとともに、通報、初期消火、人員の避難及び安全確保に至る一連の行動を実践的に演練することができました。



神埼消防署員との調整



避難搬出物品の搬出



初動対処要員への指示

隊員趣味紹介
マイブーム

九州補給処調達会計部
2等陸曹 吉原 啓典

バイクツーリングの魅力



「空気ごと」走り抜けていく感覚が、バイクツーリングの大きな魅力だ。もう一つのツーリングの魅力は、目的地だけでなく「寄り道」が主役になることだ。車なら通り過ぎてしまうような小さな道の駅や、地図に小さく載っているだけの展望台、ふと目に入ったカフェの看板、バイクだと、思いつきですつと路肩に寄せて、気軽に立ち寄ることができる。知らない土地で、知らない店に入り、たまたま居合わせた地元の人と話をする。ツーリングの魅力とは、単に遠くに行くことではなく、「自分の半径」を少しずつ広げていくことかもしれない。10月に手に入れた小さな免許は、「どこでも行ける」という約束のようなものだ。その約束を確かめるために、今日もまたエンジンをかけ、まだ走ったことのない道へとアクセルを回そうと思う。

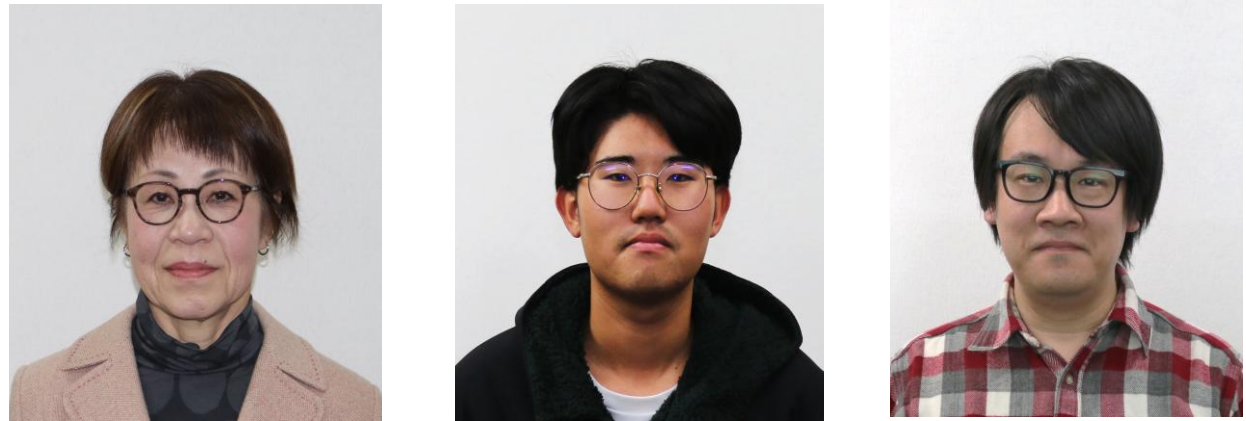
定年退官者及び予定者

▽4月	九州補給処 2尉 永藤 哲也	九州補給処 1曹 北村 和也	九州後方支援隊 1尉 田畑 正則	西方ヘリ隊 1尉 原田 憲一	321基通 1曹 田中 寿宏	321基通 1曹 鎌田 達也	▽5月	九州補給処 3佐 上村 孝明	九州補給処 3佐 吉澤 誠	九州後方支援隊 曹長 稲富 繁樹	1戦ヘリ隊 曹長 竹下 博登	西方ヘリ隊 1尉 中島 博剛	西方ヘリ隊 2尉 西口 正剛	西方ヘリ隊 曹長 萩原 順二	▽6月	九州補給処 3佐 河野 憲治	九州補給処 曹長 原野 一寿	九州補給処 1佐 山崎 俊作	九州補給処 曹長 溝江 修明	九州補給処 曹長 梅野 幸成	九州補給処 1曹 野上 義昭	1戦ヘリ隊 1曹 佐藤 博昭
-----	----------------	----------------	------------------	----------------	----------------	----------------	-----	----------------	---------------	------------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

令和8年度防衛・駐屯地モニター

駐屯地は、令和8年4月17日(金)、令和8年度防衛モニター及び駐屯地モニターの委嘱式を行いました。任期は防衛モニターが2年間、駐屯地モニターが1年間です。防衛モニターは、国の防衛及び自衛隊に関し、国民の意見や要望などをお聴きして今後の隊務運営に役立てることを目的に、駐屯地モニターは、主に駐屯地周辺に居住する方の意見・要望などをお聴きして今後の隊務運営に役立てるという目的をもって委嘱させていただきました。部隊見学や体験搭乗等の各種行事を通じて自衛隊に対する理解を深めてもらい、防衛行政や部隊運営に役立てる意見や要望を伝えていただきます。

防衛モニター



岡本 尚子様 中村 一真様 園木 大輔様
(令和7年度から) (令和7年度から)

駐屯地モニター



黒田 麻貴様 穴見 恭宏様 横尾 正則様



牟田 由紀様 大矢 涼子様

只今、前進中。
若人奮闘記



柳田 春来

めざせ！陸曹候補生！

「航空不安全が生起しないよう日々航空機の点検、整備を行っています。」
「最近、熱中していることはありませんか。」
「同期や先輩達と外食することです。行くお店を特に決めず気まぐれでお店に入り、美味しいお店を見つけた時は、楽しい気持ちになります。」
「目標とする人物又は尊敬している人はいいますか。」
「たくさんいます。格闘が強い方や、航空機整備の知識や技能が卓越している方など、それぞれの特長等においてプロ意識の高い方達を尊敬します。私自身も早くその様な立場になれるよう、只今、前進中です。」
「〇ありがとうございます。プロ意識の高い方々の指導やアドバイスを聞いて、立派な陸曹になってください。」

「自衛官になったきっかけは何ですか。」
「祖父と父が自衛官で、特に幼い頃に見た父の背中が憧れたことです。」
「目標や将来の夢は何ですか。そしてそのために取り組んでいることはありますか。」
「早く陸曹になることです。実現するために特に自信がない体力面を強化しています。」
「普段の業務ではどのようなことをしていますか。」
「航空不安全が生起しないよう日々航空機の点検、整備を行っています。」
「最近、熱中していることはありませんか。」
「同期や先輩達と外食することです。行くお店を特に決めず気まぐれでお店に入り、美味しいお店を見つけた時は、楽しい気持ちになります。」
「目標とする人物又は尊敬している人はいいますか。」
「たくさんいます。格闘が強い方や、航空機整備の知識や技能が卓越している方など、それぞれの特長等においてプロ意識の高い方達を尊敬します。私自身も早くその様な立場になれるよう、只今、前進中です。」
「〇ありがとうございます。プロ意識の高い方々の指導やアドバイスを聞いて、立派な陸曹になってください。」

所属 第4飛行隊
階級 陸士長
職種 航空科
役職 航空整備士
趣味 映画鑑賞
特技 口笛



警戒自衛戦闘訓練中の柳田士長